

病防第37号
令和2年（2020年）6月25日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第1号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和2年度（2020年度）発生予察特殊報第1号

令和2年（2020年）6月25日

熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 トマト黒点根腐病
- 2 病原菌 *Colletotrichum coccodes* コレトトリカム ココデス
- 3 発生作物 ミニトマト（ナス科）
- 4 発生確認の経過
令和元年（2019年）12月、県内の施設栽培のミニトマトで、下葉が黄化し、やがて全体が萎凋して枯死する株が確認された。現場ほ場から検体を採取、菌分離し、農林水産省門司植物防疫所に同定依頼した結果、本病であることが判明した。
- 5 国内の発生状況
本病害は大分県、神奈川県、岡山県、群馬県等で発生が確認されている。
また、本病害の病原菌はトマトの他、ナス、トウガラシ等ナス科作物に病原性を有し、それぞれの作物においても黒点根腐病として国内で発生している。
- 6 病徴
下葉から黄化し始め、発病の進展に伴い順次上位葉にまで進み、下葉から落葉する。日中地上部が萎凋することもある。発病株は生育が遅れ、発病が進むと生育が著しく劣るようになる。発病が激しくなると着果不良となり、収量が減少する。発病株の根は灰褐色に変色腐敗し、細根は脱落する。変色腐敗した根の表面には多数の小黒点を形成する（図1）。
- 7 防除対策
 - 1) 発病株は伝染源となるので、罹病した根等の残渣を土壤中へ残さないように丁寧に除去し、ほ場外へ持ち出すとともに適切に処分する。
 - 2) 発生ほ場では、必ず土壤消毒を行う。



図1 根に形成された小黑点



図2 小黑点上に形成された剛毛



図3 PDA培地上の菌核



図4 分生子

問い合わせ先

熊本県病虫害防除所

〔 農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係 〕

担当：丹、中村 TEL：096-248-6490